

今日のキーワード 「自動運転車」は世界的に増加（グローバル）

AI（人工知能）が産業界や私たちの生活で存在感を増すなか、その代表格である「自動運転車」の普及が進んでいます。4～5段階に分けられる自動運転技術のうち、レベル1～2にあたる技術の導入が進んでおり、今後も急速な拡大が見込まれます。「自動運転車」の普及によって、交通事故や交通渋滞などの社会問題の解消や、関連部品など幅広い産業の発展が期待されます。

ポイント1

ADASなどの自動運転技術が広まりつつある

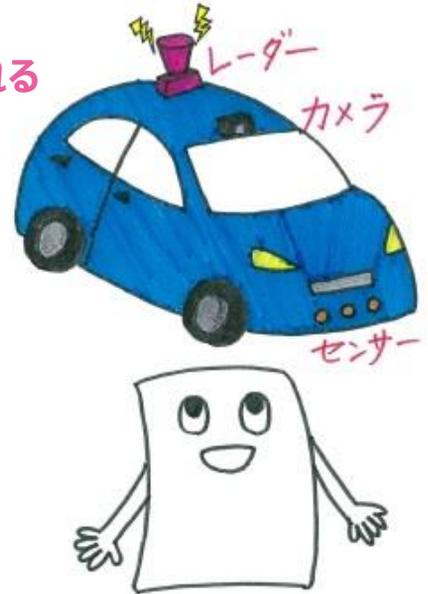
4～5段階に分けられる自動運転技術のレベル1～2にあたる技術

- 自動運転技術のレベルは、国や業界団体などにより異なり、4～5段階に分けられます。例えば、米国などで一般的な5段階別で見ると、現在市場に普及しつつある自動ブレーキなどの先進運転支援システム（ADAS）はレベル1、2に当たります。

ポイント2

ADAS搭載車の急速な普及が見込まれる 更なる自動運転技術の広まりが期待される

- 世界の自動車販売台数を見ると、世界全体では年間で9,000万台弱となっています（2015年）。このうち、ADAS搭載車は6～7台に1台と見られています。これが2020年には2台に1台がADAS搭載車となると見られるなど、今後は急速に普及が進むと考えられます。
- また、2018年以降には、高速道路などの一定の条件下で、操舵・制動・加速等の全てを自動運転システムが行うレベル3程度の「自動運転車」の普及が始まると見込まれています。自動運転技術の進化により、「自動運転車」の市場は今後もさらに拡大すると見られます。



今後の展開

様々な社会問題の解決と、幅広い産業の発展が期待される

- 交通事故の90%以上は運転手の判断ミスによって起こるとされますが、「自動運転車」が普及すると、この交通事故の削減が図れる他、交通渋滞の緩和や高齢者等の移動支援、自動搬送による物流関連のドライバー不足の解消などが可能となり、社会問題の解決に繋がると考えられます。
- 「自動運転車」には、自動運転を可能とするためにカメラやセンサー、レーダー、データ制御関連部品など様々な技術が用いられており、今後もこれらの進化が見込まれます。自動車産業の裾野は広く、「自動運転車」の普及によって、幅広い産業の発展が期待されます。

ここも チェック!

2017年3月 8日 「AI」で生活はますます便利に！（日本）
2017年2月22日 着実に進む「自動運転車」の普及（日本）

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。